

府内の漁業団体が JF 全国女性連・JF 全国漁青連会長賞を受賞 ～第30回全国青年・女性漁業者交流大会の受賞者決定について～

東京都内で開催された「第30回全国青年・女性漁業者交流大会」において、京都府代表として参加された京都府定置漁業協会が、JF 全国女性連・JF 全国漁青連会長賞を受賞されましたのでお知らせします。

- 1 受賞者** 京都府定置漁業協会*（発表者：^{はまさき}濱崎 ^{やすなり}康成）
*：京都府内の大型定置網13経営体、小型定置網1経営体が加盟。
大型定置網は府内の漁獲量の約9割を占める。
- 2 受賞** JF 全国女性連・JF 全国漁青連会長賞
- 3 発表内容** 海の恵みを守るために一致団結！-クロマグロの資源管理の取組-

- ・国内の太平洋クロマグロ（以下、「クロマグロ」）は、資源保護のため平成30年から非常に厳しい漁獲制限が課されるようになった。
- ・京都府に与えられたクロマグロの漁獲枠^{※1}を遵守し適切な資源管理を行うため、京都府定置漁業協会が中心となって、京都府漁協及び京都府と連携しながら、
 - ①自主的な資源管理のルールである「くろまぐる資源管理取組内容」を作成
 - ②日々の漁獲量・放流量を操業日誌アプリ^{※2}等により迅速に把握する体制を構築
- ・その結果、漁業者に公平な資源管理の実施と厳しい漁獲制限下での収益の確保を達成
- ・今後、ブリについても漁獲枠が設定される予定であるが、関係者間で十分に協議し、これまでクロマグロで積み重ねてきた経験を生かし、厳格な漁獲枠の管理方法を検討していく。

※1資源評価に基づく漁獲可能量

※2操業日誌アプリは、農林水産技術センター海洋センターが開発

〔参考〕 第30回全国青年・女性漁業者交流大会

日時 令和7年3月4日（火）13:00～16:00

場所 AP 日本橋（東京都中央区日本橋）

主催 全国漁業協同組合連合会（後援：農林水産省ほか）

目的 全国の青年・女性漁業者が日ごろの研究・実践活動の成果を発表するとともに、参加者間の交流により知識や情報を共有する

内容 活動内容によって5部門に分かれて取組事例の発表（発表課題総数36）が行われ、濱崎氏は、第1分科会「資源管理・資源増殖部門」で発表（発表課題数6）

※直近では、平成17年度に丹後町漁協が受賞。



交流大会で発表する濱崎氏

【本報道発表に関するお問合せ】

京都府水産事務所 海のにぎわい企画課

課長補佐 ^{いのうえ}井上

TEL 0772-25-3030

